

令和7年度第2回大和市社会福祉審議会 議事録

- 日時：令和8年2月9日（月）午後6時30分から午後7時30分
- 場所：大和市保健福祉センター5階501会議室
- 参加状況：以下のとおり

[出席委員] 11名

渡辺委員、布瀬委員、濱田委員、村上委員、小笠原委員、稲葉委員、村井委員
大出委員、垣見委員、君山委員、二見委員

[欠席委員] 4名

小野委員、北林委員、和田委員、大越委員

[事務局]

福祉総務課

[傍聴者]

なし

1. 開 会

2. 大出職務代理あいさつ

3. 議 題

(1) 第6期大和市地域福祉計画の進行管理について

①進行管理について

<資料1>

②地域福祉計画進行管理シートについて

<資料2>

4. 報告事項

指定管理者評価委員会の報告について

<資料3>

5. その他

6. 閉 会

***** 以下、要旨記録 *****

1 開 会

2 職務代理あいさつ

職務代理よりあいさつ

3 議 題

(1) 第 6 期大和市地域福祉計画の進行管理について

① 進行管理について

事務局より資料 1-1「第 6 期大和市地域福祉計画の進行管理について」、資料 1-2「第 6 期大和市地域福祉計画の進行管理のイメージ図」に基づき、内容を説明。

<質疑応答>

委 員：令和 10 年度に中間評価を行うのはなぜか。

事 務 局：計画期間が 3 年経過した令和 9 年度までの実績を基に、10 年度に中間評価を行うことを想定している。

② 地域福祉計画進行管理シートについて

事務局より資料 2「地域福祉計画進行管理について」に基づき内容を説明。

委 員：単年度目標の評価を行うという理解でよいのか。

事 務 局：単年度ごとに目標は定めていないので、評価ではなく、進行の確認をしていただく。

委 員：PDCA の観点から、前年度実績評価など、マイルストーンが必要だと思う。

単年度ごとに次年度の方向性が決まらないと評価は難しいと思う。計画期間後半で、目標達成に向け帳尻合わせをすることになると思うが。

事 務 局：最終目標値の達成に向けた単年度ごとの取り組み状況などについて報告を行う。

委 員：順調に取り組まれているかといった視点での報告内容でないと評価しづらい。混乱せずに評価できるようにしていただきたい。

委 員：シートに前年度の取り組み内容など記載があると、次年度以降の方向性が導き出せる。前年度の実績の記載をして欲しい。

事 務 局：頂いた意見をどのように進行管理シートに反映させていくか検討したい。

委 員：市の総合計画では実施計画があり、単年度ごとにどのように進めていくか計画されているが、地域福祉計画では 5 年というスパンの中で単年度ごとに分析をしながらどのように進めていくかがシートに記載されるという認識でよいのか。

事 務 局：お見込みの通りである。進行管理シートの作成にあたっては、庁内の関連する部

署と検討会議で単年度ごとに取り組みの分析等を行う。

委員：目標値の考え方についてだが、例えば、ひとり親の指標については、改善された結果、数値が減るという認識か。

事務局：計画策定の段階で所管課が、根拠をもって目標値を設定している。必ずしも減ればいいというものでもない。

委員：実績報告の際に、審議会場で、どのように評価すればいいかが課題である。

委員：シート下段の取り組み内容に、目標達成に向けた実績値の捉え方等が記載されるのではないか。

委員：文章で補足するということか。

職務代理：事務局としてそのような認識でいいか。

事務局：その通りである。上段で実績値を示し、下段にはその実績値や取り組み内容等についての所管の考えを記載する。

委員：次回の審議会では、進行管理シートに取り組み内容が記載されたものが出されるのか。

事務局：その通りである。

委員：第2層協議体について、目標は12地区だが目標達成には時間がかかると思う。行政が働きかけたからといって必ずしも設置できるものではない。

事務局：時間がかかることは承知している。行政としては目標を持って取り組んでいく姿勢を示したい。今年度は、8地区まで設置予定である。

4. 報告事項

指定管理者評価委員会の報告について

<資料3>

事務局より資料3「令和6年度事業報告概要及び評価」に基づき、内容を説明。

5 その他

- ・委員より、第7期地域福祉計画に向けた社協の地域福祉活動計画との連携や防災計画との親和性、成年後見制度におけるリソース不足、自治会等の地域の担い手確保について情報提供。
- ・事務局より、来年度の改選に向けて推薦依頼を送付する旨を連絡。

6 閉会